

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：21,026,000円

(事業収入：5,672,000円、市負担金収入：15,354,000円) ○ 支出
決算額：20,913,354円

2 事業の成果

◆ 受注促進・販路開拓支援事業: 県外企業訪問と展示会出展を中心に販路開拓を行った結果、引き合い件数 529 件、進行中の商談を除いて 55 件の成約があった。案件の内容としては、機械 装置部品の加工や生活関連商品の製造に関する案件が多く、初期投資が抑えられる板金加工、機械加工といった加工分野で成約に至る傾向があった。

また年度末の新型コロナウイルス感染拡大により、2月に共同出展した展示会での引き合いが大きく減少し、地域外企業からの引き合いにも影響が及んだ。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業 (担当：企業支援課)

(収入決算額：21,026,000円、支出決算額：20,913,354円)

① 地域外企業訪問による受注促進

関東圏を中心に自動車部品、電機部品、医療器具など多種多様な業界の企業を訪問し、燕三条地域のものづくり技術力のPRを行ったことにより、新規案件を地域企業に仲介し、受注へと結びつけた。新規開発案件などは試作や量産までに時間を要することから、継続的にフォローを行い成約へと結びつける。

年度	受注斡旋(件)				引合件数小計	各種相談
	成約	見積検 査中	対応企業 紹介	不成約		
R元年度	55	59	388	27	529	170
H30年度	67	56	448	17	588	197
H29年度	54	55	445	12	566	220

・ 引き合いの主な分野

- 1) 機械加工 (77件 14.6%)、2) 表面処理 (70件 13.2%)
- 3) 生活関連商品 (65件 12.3%)、

・ 成約の主な分野

- 1) 板金加工 (16件 29%)、2) 機械加工 (9件 16%)、
- 3) 生活関連商品・表面研磨 (各5件 各9%)

・ 受発注打合せ件数

(単位：件)

年度	地域内(市 内)企業訪 問	地域外(県 内)企業訪 問	県外企業出 張訪問	県内企業来室 打合せ	県外企業来室 打合せ
R元年度	550	102	121	96	109
H30年度	516	112	145	105	150

H29 年度	759	128	146	144	143
--------	-----	-----	-----	-----	-----

② 販路開拓コーディネーターとの連携による受注促進

埼玉県、神奈川県を活動拠点とする中小企業診断士 2 人を販路開拓コーディネーターに委嘱して、関東地域の新規案件の情報収集並びに当地域加工技術の PR 活動、訪問先企業からの企業照会案件の仲介（7 社、7 案件）及び仲介後のフォローを展開した。

③ 燕三条地域企業との技術系・専門分野展示会への共同出展等による受注促進

関東、大阪で開催された技術系展示会に加え、専門性の高い展示会に地域企業と共同出展し、各企業固有の加工技術や部品、新商品を展示して新規受注の獲得を行った。さらに産業集積地で開催される展示会に出展して地域産業の PR を行い、地域企業の受注促進を図った。

【共同出展展示会】

展示会名称（会場）		開催期間	来場者数	共同出展企業数	引合件数	成約件数
1)	高精度・難加工技術展【新規】 （パシフィコ横浜）	9/4～6	56,185 人	8 社	134 件	18 件
2)	関西機械要素技術展（インテックス大阪）	10/2～4	40,071 人	5 社	53 件	5 件
		H30 年度	38,673 人	9 社	48 件	6 件
		H29 年度	36,936 人	9 社	43 件	2 件
3)	機械要素技術展 （幕張メッセ） （H30、H29 は 東京ビッグサイト）	2/26～28	10,664 人	19 社 （うちアテンド 5 社）	19 件	—
		H30 年度	88,679 人	23 社	234 件	21 件
		H29 年度	88,554 人	23 社	198 件	10 件

※引合い件数：試作依頼、見積検討、図面照会、後日訪問相談数の合計

【地場産センター単独出展】

展示会名称（会場）	開催期間	来場者数	引合件数	成約件数
第 24 回高度技術・技能展お おた工業フェア 2020 （大田区産業プラザ Pi0）	2/6～7	3,378 人	9 件	1 件
	H30 年度	3,138 人	21 件	3 件

④ 首都圏商談会参加による受注促進【新規】

地域企業を募り、首都圏で開催される商談会に参加して受注促進を図った。

商談会名称(会場)	開催日	発注企業数 案件数	参加企業 数	商談件 数	成約 件数
受・発注商談会 in 川崎 2019 （川崎市産業振興会館）	9/19	61 社 130 件	6 社	31 件	1 件

⑤ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約 700 社に展示会共同出展企業の募集案内やセミナー開催案内、受発注動向などを FAX で配信した。（リサーチコア通信）

- 2) 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等(約1,500人)へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。(新潟発!燕三条ものづくり情報)

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：68,233,818円

(事業収入：16,552,015円、市負担金収入：49,234,513円
その他補助金収入：2,447,290円) ○ 支出決算額：62,521,717円

2 事業の成果

◆ 産学連携共同研究開発事業:当地域企業の生産技術や加工技術の高度化を目標として、最新のトピックを紹介するものづくりフォーラムと4つの専門研究会を開催した。研究会では地域企業が抱える共通の課題やテーマを解決するために各種の試験を実施し、その結果や技術情報を提供した。

◆ 技術開発総合支援事業:当地域企業からの接合、金属表面技術、3D-CAD、知的所有権などの各種技術相談に対して、当センター機械設備の活用や技術職員による対応、専門家との連携によって課題解決を推進した。

◆ 燕三条ものづくりメッセ開催事業:第6回「燕三条ものづくりメッセ 2019」は国内外から過去最多の262社・団体が出展し、全国から3日間開催した先回同等の12,148名が来場し、県外からの来場者が約20%に達した。

3 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：2,968,749円、支出決算額：2,968,186円)

① ものづくりフォーラム【新規】

地域企業の加工技術向上のため、工程の自動化、ロボットの運用、材料検査、シミュレーションなど各分野での最新のトピックを紹介した。フォーラム開催をきっかけとして地域企業と事例紹介企業との連携が進んだ。

- ・ 期間(回数)：令和元年8月～令和2年2月 (5回実施)
- ・ 参加者：延べ183人

② 専門研究会

1) 溶接・接合技術研究会

地域企業の溶接技術や品質の向上を目的として、接合技術や接合部の後処理、接着技術等について情報を提供した。

- ・ 期間(回数)：令和元年6月～令和2年3月
(3回実施し3月実施の1回分は新型コロナウイルス感染症対策のため延期)
- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 准教授 宮下 幸雄 氏
- ・ 参加者：12人(9社)

2) 表面処理技術研究会

地域企業における洗浄工程の効率化を目的として、ファインバブルを利用した洗浄技術や加工技術等の最新情報を提供した。また、ファインバブルを用いた洗浄試験を行い、試験によって得られた隙間洗浄効果等の知見を会員企業へ提供した。

- ・ 期間(回数)：令和元年7月～令和2年3月

(3回実施し3月実施の1回分は新型コロナウイルス感染症対策のため延期)

- ・ 指導者：新潟大学 自然科学系 生産デザイン工学系列 助教 牛田 晃臣 氏
- ・ 参加者：17人(14社)

3) IoT センシング技術研究会

生産現場のIoT (Internet of Things) 化を目標として参加企業自身がシステムを企画、構築できるようになるための情報提供を行った。また、IoT により建設機械の効率的な管理を行っている企業を訪問することで、会員企業各社がIoT の運用方法について検討を進めた。

- ・ 期間 (回数)：令和元年5月～令和2年3月

(4回実施し3月実施の1回分は新型コロナウイルス感染症対策のため延期)

- ・ 指導者：長岡技術科学大学 名誉教授 山崎 克之 氏
- ・ 参加者：34人(19社)

4) カutting技術研究会

難加工材料の切削加工技術高度化を目的として、ステンレス鋼系の難加工材料を対象とした超音波振動援用切削加工に関する試験を行い、試験によって得られた加工特性を参加企業へ提供した。また、先進的な工程自動化を行っている企業を訪問し意見交換を行った。

- ・ 期間(回数)：令和元年6月～令和2年3月

(3回実施し2月3月実施の2回分は新型コロナウイルス感染症対策のため延期)

- ・ 指導者：長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 准教授 磯部 浩巳 氏
- ・ 参加者：12人 (11社)

(2) 技術開発総合支援事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：5,734,779円、支出決算額：2,844,312円)

① 知的財産権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を地域企業が戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月1回の個別相談会を実施した。自社の商標や意匠出願に関する相談が多く、海外での出願の相談にも対応した。

- ・ 指導者：ジーバック国際特許事務所 所長 清水 善廣 氏、弁理士 小松 悠有子 氏
- ・ 相談件数：36件 (20社)、出願に繋がったもの：7件 (意匠1件、商標6件)

② 技術専門家派遣

地域企業からのIoT や3次元CAD等に関する技術相談に対して専門家を派遣し、課題解決に向けたアドバイスを行った。

- ・ 実施回数：11回 (対象企業：10社)

③ 職員による技術相談

燕三条地域企業からの金属材料の表面性状に関する相談、試験方法やトラブル対策の相談、3次元CADに関する相談などに対して、センター技術職員が機械設備を活用しながら解決策や改善策などを提案した。

- ・ 相談件数：76件 (38社)

④ 機器利用促進

【機械設備利用状況】

名 称	R 元年度	H30 年度	H29 年度
3D測定レーザー顕微鏡	13	21	34
多関節型3次元デジタイザー	35	17	12
蛍光X線分析装置	36	34	71
走査型電子顕微鏡	6	2	2
レーザーマーカ	15	38	40
デジタルマイクロスコープ	5	5	9
3次元デジタイジング装置	16	13	23
3次元デザインCADシステム	49	24	32
万能塑性加工試験機	3	1	1
雰囲気熱処理装置	22	25	10
3Dプリンター	25	9	21
顕微フーリエ変換赤外分光光度計	3	-	-
精密天秤など	5	2	11
合 計	233	191	266

※顕微フーリエ変換赤外分光光度計は令和元年9月から有償での供用開始

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業（担当：技術開発課）

（収入決算額：59,530,290円、支出決算額：56,709,219円）

「燕三条ものづくりメッセ 2019」

6回目の開催となる燕三条ものづくりメッセは、過去の来場者の傾向からダイレクトメールなどによる集客を強化し、併催事業として（一社）溶接学会による溶接技術講演会、3Dプリンター活用コンテスト、写真展 燕三条の職人を開催して集客に努めた。この結果、会期は2日間であったが、3日間の開催であった昨年度とほぼ同数の方に来場いただくことができた。

展示会は、燕三条地域の製造業120社を中心として国内外の企業が開発した新製品、技術、サービスなどが一堂に展示された。また、地域企業の希望者と共に台湾からの出展企業ブースを訪問し、相互交流を深めた。

これらの活動により、ものづくり系企業のビジネスマッチングの場として活用いただくことができた。

- ・ 会期：令和元年10月17日(木)～18日(金)（2日間）
（17日：10:00～17:00、18日：10:00～16:00）
- ・ 出展者：262社・団体（小間数321ブース）
- ・ 来場者：12,148人（10月17日(木)：5,489人、18日(金)：6,659人）

- ・ 引合件数：2,951 件（相談、引合い・見積件数は、展示会終了時のアンケート結果による）
- ・ 成約件数：68 件（展示会終了時のアンケート結果による）
- ・ 併催事業：溶接技術講演会（溶接学会東部支部共催）、3Dプリンター活用コンテスト、日台ビジネス交流商談会、写真展 燕三条の職人

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

○収入決算額：55,453,700円

（事業収入：402,700円、市負担金収入：55,051,000円）

○支出決算額：55,452,931円

2 事業の成果

◆ 燕三条ブランド推進事業：第7回目の開催となった「燕三条 工場の祭典」の開催を事務局としてサポートした。また、オフィシャルブックの製作や海外での企画展示により、イベント開催時以外でのPR及び、海外に向けた発信を行った。

燕三条ブランド推進の基礎となるプライドプロジェクト事業では、大型観光企画である「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」に参加。「畑の朝カフェ」を全国にPRしたほか、過去10年の実績を基に「燕三条まちあるき読本」を製作するなど、燕三条の魅力を地域内外へ向けて発信した。

燕三条のイメージアップと継続的な情報発信の強化の為、広域観光ガイドブックのリニューアルや観光情報サイトのリニューアルを行った。

また、「ものづくりのまち 燕三条」の基盤強化及び、小ロット特注対応力をPRする為、地域資源を活用した商品開発ワークショップを開催。発信力の高いプロのニーズに対応し、技術とアイデアによって高品質な製品を提案した。

3 実施事業

(1) 燕三条ブランド推進事業

（収入決算額：55,453,700円、支出決算額：55,452,931円）

① 「燕三条 工場の祭典」

1) 「燕三条 工場の祭典」

「燕三条 工場の祭典」実行委員会の主催により、各種製品を製造する燕三条地域の名だたる工場が製造現場を一斉に解放し、訪れた工場でものづくりを見学・体験・購入できるイベントを開催した。参加企業による工夫を凝らした演出によって工場の魅力が最大限に発揮され、国内外から多くの来場者があった。また、参加工場の紹介や燕三条の産業や職人などを掲載した「燕三条 工場の祭典 オフィシャルブック 2019」を製作し、都内での広報イベントやオンラインによる販売を行った。事前販売により遠方からの来場につながるのと同時に、イベント開催以外にも燕三条の魅力を伝えるアイテムとなった。

- ・ 開催日：令和元年10月3日(木)～6日(日) 4日間
（平成30年度：10月4日(木)～7日(日) 4日間）
- ・ 参加企業：113社・団体（平成30年度：109社・団体）
- ・ 来場者数：56,272人（平成30年度：53,345人）
- ・ オフィシャルブック販売数：1,600部

2) 「燕三条 工場の祭典」 in Singapore

燕三条のものづくりの歴史とその変遷の紹介と2019年「燕三条 工場の祭典」参加 KOUBA のプロダクトや職人、ものづくりを撮影した写真、動画の展示とともにワークショップ等を実施し、燕三条を体感できる展覧会を開催した。

- ・ 開催日：令和2年2月21日(金)～3月22日(日) ・
- 会 場：Nanyang Academy of Fine Arts (NAFA) ・ 内
- 容：ものづくりの年表や2019年参加 KOUBA の产品展示

職人によるワークショップ及びトークイベントの実施

- ・ 来場者数：2,525人(内、外国人218人)

② 燕三条 Wing の活用

1) 燕三条 Wing の状況

年度	来場者数
R元	約74,781人(約6,231人/月)
H30	約79,642人(約6,636人/月)

2) 観光コンシェルジュ照会状況

- ・ 令和元年度：97件/64日(平成30年度：99件/62日)
- ・ 分野別照会件数

年度	待ち時間	工場見学	施設紹介	食	交通	買物	その他
R元	9	13	16	18	22	5	14
H30	11	14	2	23	22	16	10

3) 燕三条 Wing を活用した発信

実施期間	内容
9/20(金)～12/1(日)	ブランディングアート2018作品の展示及びウィンドウ広告の設置
4/1(日)～6/7(金) 1/24(金)～3/31(火)	グッドデザイン賞受賞製品の展示

③ プライドプロジェクト事業

1) プロダクトグループ

テーマ「お酒を楽しむための道具」のもと、それぞれのブラッシュアップと共に、PRと期間販売を行い、伊勢丹新潟店に5種14点展示したうち2種3点を販売した。また「新潟ぼん酒館」より引き合いがあり、メンバー3社より商品提案を行った。その他、地域が得意とする素材と技術が込められた開発商品をPRできる次回企画の検討を進める一方、3回目の参加を予定していた「にいがた酒の陣2020」は、主催者により中止となった。

- ・ 開発品：お酒を楽しむための道具(お猪口、酒器、関連商品)

出展期間	出展会場
9/13(金)～9/15(日) 3日間	伊勢丹新潟店「丹青会」
9/16(月)～9/30(日) 15日間	伊勢丹新潟店「越品」

2) レストラングループ

○ 燕三条「畑の朝カフェ」の開催

開催日	開催会場	参加人数	備考
4/21(日)	佐藤農園：田上町	16人	たけのこ堀体験
5/25(土)～26(日) 6/8(土)～9(日)	ハーヴェスト：燕市	31人	ハーブ摘み取り体験ハチミツ体験
7/27(土)	フラワー華蓮：燕市	24人	鉢の植え替え作業体験蓮葉の水揚げ体験
8/4(日)	小杉農園：燕市	18人	梨の収穫体験
9/29(日)	渡辺果樹園：三条市	19人	農園の散策ぶどうの食べ比べ
2/22(土)	内山農園：三条市	15人	燕や小松菜などの野菜と苺の収穫体験

※この他、天候等による中止2回

○ 新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーンへの参加

「新潟県・庄内エリア デスティネーションキャンペーン」に参加し、エージェントの企画するツアー向けの「畑の朝カフェ」を実施した。(催行2件/企画6件)

開催日	開催会場	参加人数	備考
9/11(水)	内山農園：三条市	14人	枝豆の収穫体験
9/17(金)	渡辺果樹園：三条市	17人	各種ぶどうの食べくらべ

3) ツーリズムグループ

○ 燕三条まちあるき事業

地元ナビゲータと一緒に巡ることでより深く「燕三条」の魅力に触れることができる「燕三条まちあるき」を開催し、地域団体のコース企画の取りまとめや発信等イベント運営の総括を行った。

《2019春》

- ・開催期間：平成31年4月13日(土)～令和元年6月8日(土)
- ・コース数：17コース 参加延人数：178人

《2019秋》

- ・開催期間：令和元年9月29日(日)～11月10日(日)
- ・コース数：13コース 参加延人数：86人

○ 「燕三条まちあるき読本」の製作

モデルコース(6コース)や過去のコースなどを掲載して「燕三条まちあるき」の魅力を伝えることにより、参加促進を目的に製作。公共施設等に閲覧用として配布した。

(1,000部)

○ 燕三条グリーンツーリズム事業の推進

燕三条エリアで自然体験等の活動に取り組んでいる団体のイベントを掲載したパンフレットを作成し、燕三条地域の小学校全児童(35校8,572人)に配布して、地域の魅力を発信した。

- ・15団体、42イベント、18,000部(H30：16団体、47イベント、20,000部)

4) プロモーショングループ

製品の製造工程などで排出される事業排出物（ブランク材）を用い、創意工夫と技術によって再び生まれ変わらせ、燕三条に代々息づく「モノづくりの心と技」を表現しようとする取り組みで、第6回目となる「ブランキングアート展」の企画運営を行った。

○ ブランキングアート展 2019

- ・ 出品数：9 作品
 - ・ 会 場：JR 燕三条駅観光物産センター「燕三条 Wing」
燕三条地場産業振興センターリサーチコア 3F デザインギャラリー
 - ・ 期 間：令和元年9月20日(金)～12月1日(日)
 - ・ 来場者：延べ約2,000人
うち、アンケート回収数44枚(県外13枚、県内22枚(内燕三条12枚)他)
 - ・ その他：ブランキングアート巡回展
「2018 作品、2017 一部作品」
リサーチコア3F デザインギャラリー：4月27日(金)～8月19日(日)
- ##### ○ 「燕三条職人のことば集 こうばのじてん」3版セットの委託販売
- ・ 内 容：第1版から第3版までのパッケージ化及び販売の外部委託
 - ・ 販売数：3版セット/60セット、第1版～第3版 各版 75冊
(平成30年度：3版セット/460セット、第1版～第3版 各版 300冊)

5) プライドプロジェクト会議 開催回数

グループ名 (人数)	会議など (回)
プロダクト (16)	5
レストラン (18)	14
ツーリズム (24)	17
プロモーション+JR 燕三条駅 Pro (11)	1
合 計 (69)	37

④ デザインギャラリーの運用

- ・ 海外販路開拓に取り組んでいる商品の展示
- ・ 燕三条地域の2018年度グッドデザイン賞受賞商品の展示
- ・ 燕三条地域の2019年度グッドデザイン賞受賞商品の展示 (10/2～)
- ・ ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2019受賞商品の展示
- ・ ブランキングアート展2018作品 2017一部作品の展示
- ・ ブランキングアート展2019出展品の展示

⑤ プロユース向け商品開発事業

発信力・著名性が高く、首都圏で活躍する、新潟に縁のある3名のシェフと地域企業によるプロ向け商品開発ワークショップを実施した。シェフの意見を基に当地域に精通したコーディネーター、デザイナー、流通関係者がアドバイザーとなり、小ロット特注品への訴求力強化を図ることを目的に開発を進めた。

- ・ ワークショップ開催：7回

- ・シェフアドバイザー：タロス（渋谷）他3店舗 オーナーシェフ 馬場 圭太郎 氏はっこく（銀座）オーナー職人 佐藤 博之 氏 sio（渋谷）オーナー 鳥羽 周作 氏
- ・参加企業：6社
- ・開発品：7アイテムを試作。それぞれは業務用として首都圏の飲食店に設置し試用中。

⑥ 国内デザイン賞取得支援

1) 応募説明会の開催

2019年度グッドデザイン賞応募説明会及び審査体験ワークショップを開催

- ・開催日：平成31年4月22日（月）
- ・説明：公益財団法人日本デザイン振興会 津村 真紀子 氏
- ・ワークショップ：公益財団法人日本デザイン振興会
- ・解説アドバイザー：多摩美術大学 生産デザイン学科 教授 濱田 芳治 氏
- ・参加者：30人（説明会）、19人（ワークショップ）

2) 燕三条地域プレゼンテーションの開催

- ・開催日：令和元年12月10日（火）
- ・受賞数：10社（団体）21件 ※燕三条地域分
- ・プレゼン：10社21件 ※2019年度燕三条受賞商品を対象としたプレゼンテーション
- ・特別講演：多摩美術大学 生産デザイン学科 教授 濱田 芳治 氏
- ・総評：（公財）日本デザイン振興会 常務理事 加藤 公敬 氏
- ・参加者：37人

3) 首都圏でのGマーク受賞品PR展示

- ・開催日：令和元年12月16日（月）～12月25日（水）
- ・内容：2019年度グッドデザイン賞受品21件、SUWADA ART LAB（企画展示）、GOOD DESIGN STORE by NOHARAで販売されている商品39件
- ・来場者数：4,461人

⑦ 燕三条観光情報の発信

1) 広域観光ガイドブックの製作

これまでのガイドブックについてコンテンツや構成等全面的な見直しを図った。主要観光スポットやイベント紹介のほか、お勧めルートや産業観光等を掲載し、より活用しやすく燕三条の魅力を発信するツールとして製作した。

2) 観光情報サイトのリニューアル

燕三条観光のポータルサイトとなるようシステムの改築等リニューアルを行った。広域観光ガイドブックと合わせて掲載情報を見直すとともに、最新情報の発信や各種観光サイトへのリンク等により、発信力の高いサイトとして活用していく。

⑧ 燕三条ブランド事業推進会議の開催

- ・開催日：令和元年11月29日（金）
- ・委員：5人
- ・内容：令和元年度 燕三条ブランド推進事業中間報告燕三条ブランドマークの使用申請について
燕三条プライドプロジェクト事業の今後の展開について

⑨ 燕三条ブランドマーク使用認証の推進

- ・令和元年度認証数：4アイテム（4社・団体）
- ・総認証数：280アイテム（35社・団体）

⑩ 地域デザイン団体活動支援

- ・ 燕三条デザイン研究会（会員：58人、全体例会3回、グループ例会12回、グループ主催イベント1回、役員会3回）
- ・ つばめデザイン研究会（会員：6人、全体例会1回）

【4】 企業人材育成事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：13,626,616円

（事業収入：5,864,616円、市負担金収入：7,762,000円）○ 支出決算額：11,766,826円

2 事業の成果

◆ 技術力強化支援事業:地域企業の人材育成と開発力向上を目的として図面の見方など基礎的な事柄を学ぶ基礎系セミナーと専門性の高い知識を集中的に学ぶ専門系のセミナーを開講した。セミナーでは各界の専門家からテキストに記載された内容から実務レベルの内容まで幅広く指導いただくことで、地域企業の技術力向上を推進した。

◆ 経営力強化支援事業:事務・営業系社員を対象とした経営系研修や企業の技術・製品PRのツールとなる情報系研修を開講したほか、人材の確保と育成計画に関するセミナーを新設して地域企業の基礎力・情報発信力の強化を図った。

3 実施事業

(1) 技術力強化支援事業（担当：技術開発課）

（収入決算額：4,798,120円、支出決算額：2,938,824円）

製造に携わる方々に必要な基礎知識を身につける基礎コース、専門分野を集中的に学ぶ専門コースを開催した。なお、②金属材料基礎講座、⑥3D-CAD/CAE入門講座、⑩表面処理集中講座では実習を含めた講座を開講して受講者の理解を深めた。

研修講座名	期間（時間×回数）	募集（人）	実績（人）
①図面の見方と金属材料・加工基礎講座	4/16～4/23（6h×3回）	15	22
②金属材料基礎講座	5/14～7/30（2h×11回）	20	24
③図面の見方・描き方入門講座(第1期)	8/20～9/17（2h×9回）	15	23
④図面の見方・描き方入門講座(第2期)	11/12～12/12（2h×9回）	15	24
⑤製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	6/19～7/17（2h×5回）	15	20
⑥3D-CAD/CAE入門講座	9/2～9/18 （3h×1回、4h×3回）	15	15
⑦設計・製図基礎集中講座	12/13～12/20（3h×3回）	15	18
⑧溶接技術集中講座	7/4～7/5（3h×3回）	15	18
⑨プレス加工集中講座	11/5～11/27（3h×4回）	15	8
⑩表面処理集中講座	1/14～1/28（3h×3回）	15	22
⑪熱処理技術集中講座	9/27～10/11（3h×3回）	15	14

⑫知財活用技術講座	2/15～2/22 (4h+3h)	10	11
⑬燕三条ものづくり現場改善基礎講座	7/18～8/28 (2h×6回)	20	28
合 計	全13コース・65回・168時間	200	247

(2) 経営力強化支援事業 (担当：企業支援課)

(収入決算額：8,828,496円、支出決算額：8,828,002円)

① 企業向け情報・経営研修会の開催

ITの活用による業務の効率化と自社商品の販売促進を効果的に行うためのセミナーや、営業先企業のマーケティングを強化することで営業力を底上げする方法を学ぶセミナーなどを開催した。

〈情報系〉

研修講座名	期間 (時間×回数)	募集 (人)	実績 (人)
エクセル活用講座 (仕事の効率を上げる Excel 活用講座)	5/10～5/20 (2h×5回)	10	9
ネット販売のための商品撮影集中講座	11/6～11/8 (2h×3回)	10	5
イラストレーター講座 (初心者のための Adobe Illustrator 講座)	12/3～12/17 (2h×3回)	8	6
WordPress 入門講座	1/20～1/29 (2h×4回)	10	10

〈経営系〉

研修講座名	期間 (時間×回数)	募集 (人)	実績 (人)
中堅・若手社員のコスト意識の育成講座	5/27～6/10 (2h×3回)	10	20
営業力強化セミナー	6/14～7/12 (2h×3回)	15	11
事務職のための業務改善研修	7/24～8/6 (2h×3回)	10	12
人材確保と育成の仕組みづくりセミナー	9/10～9/24 (2h×3回)	10	9

〈公開セミナー〉

セミナー名	日程 (時間×回数)	募集 (人)	実績 (人)
RPA導入基礎セミナー	12/20 (2h×1回)	20	19
事業継続計画(BCP)策定のポイント	3/5 (2h×1回)	24	中止

② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業が抱える経営上の課題や IT を活用した社内事務作業の効率化、自社商品開発に際しての課題を解決するため、専門家を企業へ派遣して課題解決に向けたアドバイスを行った。

・相談件数：3件(延べ4回)、派遣指導者：4人

③ 情報機器・Wi-Fi 環境整備

情報研修のパソコンの更新及びリサーチコア研修エリア用に Wi-Fi 環境の整備を行った。

④ 広報活動の強化

最新の企業支援情報をホームページおよびメールマガジンで発信したほか、各種事業の PR とリサーチコアの利用促進のためリサーチコアレポートを発行した。

1) ビジネス情報の提供

センターHP に企業向け支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

・ビジネス情報掲載件数：178 件

2) メールマガジンの発行

・毎月 1 回 (年間 12 回) 配信

・掲載情報件数：91 件

・3 月末メルマガ配信登録者数：560 件

3) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年 3 回)

・第 20 号 (R1. 9 月)、第 21 号 (R2. 1 月)、第 22 号 (R2. 3 月)

⑤ ホームページ・フリースポットの管理・運営

ものづくり企業ナビのスマートフォン対応を図り利便性向上を図った。

⑥ 情報関連機器の維持管理他

業務が円滑に遂行できるよう、各種サーバや IT 機器のメンテナンスとバックアップなどを行った。

・情報研修室 OA 機器、研修用ビデオ・DVD の貸出し

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備考
パソコン・プロジェクター	13 件	156,696 円	情報研修室、貸出し用 PC 他
研修用ビデオ・DVD	23 本	無料	

【5】海外販路支援事業

1 収支決算額

○収入決算額：64,653,400 円

(事業収入：4,058,000 円、市負担金収入：42,108,000 円) 事業補助金収入：18,487,400 円)

○支出決算額：62,057,778 円

2 事業の成果

- ◆ 海外販路支援事業: 地域企業の海外展開状況についての調査を行い、海外の地域別課題と、必要と考えられる支援方針をまとめた海外展開の戦略を策定した。

販路開拓においては、継続出展している欧州展示会に加え、米国展示会に新規出展し、新たに海外展開を始めた企業の事業参画や、新市場への進出の機会を創出した。加えて関連支援機関や行政との連携により、東南アジア市場における販路開拓の支援を行った。

インバウンド誘客では、北陸信越運輸局、新潟県、近隣自治体と連携し、現地旅行社へのセールスや現地旅行博への出展、メディアやブロガーの招聘などを行い、具体的な旅行プランの一部として燕三条への来訪を促進した。

また、地域企業が海外展開を推進するために必要な各種セミナーを開催した。

3 実施事業

(1) 海外販路支援事業

(収入決算額：64,653,400 円、支出決算額：62,057,778 円)

① 海外販路開拓支援

1) 米国展示会への出展【新規】

- ・名称：NY NOW summer 2019
- ・会期：令和元年8月11日（日）～14日（水）
- ・会場：Jacob K. Javits Convention Center（ニューヨーク）
- ・来場者：20,000人（詳細非公開）
- ・参加企業：8社（134アイテム）
- ・コンタクト件数：255件
- ・商談件数：49件
- ・成約：813,000円（見込み含む）

2) 欧州展示会への出展

- ・名称：Ambiente 2020
- ・会期：令和2年2月7日（金）～11日（火）
- ・会場：ドイツ・フランクフルト国際見本市会場（フランクフルト）
- ・来場者：約108,000人（160カ国・地域）
- ・出展者数：4,635社（93カ国・地域）
- ・参加企業：11社
- ・コンタクト件数：241件
- ・商談件数：55件
- ・成約：414,000円（見込み含む）

3) 中国への販路開拓

- ・目的：中国内陸部の市場調査及び、越境EC事業展開の打ち合わせ
- ・期間：令和元年8月5日（月）～10日（土）
- ・訪問先：成都イトーヨーカドー双楠店、重慶市、武漢ジェトロ、鄂州市 他

4) 東南アジアにおけるビジネス展開可能性調査

- ・内 容：海外展開戦略における重点地域の一つであるベトナム・シンガポールに赴き、現地政府、関連団体、日系企業等と面談し、事業展開時の現地運営連携可能性を探った。
 - ・出張期間：令和元年11月12日（火）～16日（土）
 - ・面談先：ベトナム計画投資省（副大臣）、両国在外公館、JICA、JETRO、ホーチミン燕三条アンテナショップ等
- 5) 海外バイヤー招聘によるビジネスマッチング（JETRO 共催）
- ・開催日：令和元年9月10日（火）～13日（金）
 - ・招聘バイヤー：CALLIDORA CREATIVE SDN BHD（マレーシア）
 - ・商談参加企業：17社
 - ・成約：1,500,000円（見込み含む）
- 6) シンガポールにおける新潟の魅力発信事業（新潟県受託事業）
- ・内 容：新潟県産品（工業製品、食品等）の展示やワークショップを通じて、新潟県の魅力を発信し、新潟県の県産品購入を促進した。また、県産品の購入を目的とした観光誘客を推進した。
 - ・名 称：A Slice of Niigata Food Culture
～Experience Gastronomy with TsubameSanjo～
 - ・会 期：令和元年11月21日（木）～23日（土）
 - ・会 場：ジャパン・クリエイティブ・センター（シンガポール）
 - ・来場者：248人（うちワークショップ参加者72人）

② 海外向け商品開発力の強化事業【新規】

- 1) 欧州市場に向けた商品開発相談会の実施
- ・内容：欧州をターゲットとした新商品のアイデアや、既存の自社商品を欧州向けに改良するための相談会を開催した。
 - ・開催日：令和元年11月13日（水）、12月9日（月）
 - ・アドバイザー：(株)SATOMI SUZUKI TOKYO 代表取締役 鈴木 里美 氏
 - ・参加企業数：のべ16社

③ 台湾との国際産業クラスター交流事業

- 1) 燕三条ものづくりメッセ2019への台湾企業の招聘（技術開発課連携）
- ・名 称：燕三条ものづくりメッセ2019
 - ・会 期：令和元年10月17日（水）～18日（木）
 - ・会 場：燕三条地場産業振興センター
 - ・台湾参加企業および団体：12社・団体

④ インバウンド誘客事業

- 1) 新潟県国際観光テーマ地区推進協議会連携事業
1. マレーシア現地旅行社へのセールスコース
 - ・期 間：令和元年7月1日（月）～3日（水）
 - ・訪問先：旅行会社12社（日系3社 ローカル9社）
 2. ベトナム旅行博プロモーション

- ・内 容：HIS 主催の本旅行博にて、燕三条への誘客 PR を行った。
 - ・会 期：令和元年 8 月 3 日（土）～4 日（日）
 - ・名 称：FEEL JAPAN
 - ・会 場：White Palace Convention Center（ホーチミン市内フーニン区）
 - ・来場者：38,000 人
3. ベトナム現地旅行社へのセールスコール
- ・日 程：令和元年 8 月 5 日（月）
 - ・訪問先：旅行会社 4 社（日系 1 社 ローカル 3 社）
4. 豪州での教育旅行観光説明会
- ・内 容：日本語学習者が多い豪州にて教育旅行向けプログラムとしてオープンファクトリーなどを PR した。
 - ・期 間：令和元年 10 月 9 日（水）
 - ・会 場：Monash University 日本語センター（メルボルン）
 - ・参加者：教育関係者、日系メディア等（30 人程度）
5. 豪州での現地旅行社へのセールスコール
- ・期 間：令和元年 10 月 10 日（木）
 - ・訪問先：メルボルン市内旅行社 3 社
6. 台湾現地旅行社商談会
- ・内 容：日本観光振興協会主催の現地商談会にて、燕三条への誘客 PR を行った。
 - ・会 期：令和元年 11 月 7 日（木）
 - ・会 場：シェラトン台北（台北市）
 - ・台湾側企業参加者：105 社（メディア関係者含む）
 - ・日本側参加団体：70 団体
 - ・商談実績：8 社
7. 台湾国際旅行博プロモーション
- ・内 容：遠東航空と協働のブースにて、燕三条への誘客 PR を行った。
 - ・会 期：令和元年 11 月 8 日（金）～11 日（月）
 - ・名 称：台湾国際旅行博（ITF2019）
 - ・会 場：南港展覽館（台北市）
 - ・来場者：384,834 人
- 2) 地方連携による訪日プロモーション事業（新潟市・佐渡市連携）
1. シンガポール現地旅行社へのセールスコール
- ・日 程：令和元年 11 月 19 日（火）～20 日（水）
 - ・訪問先：シンガポール市内旅行社 10 社（日系 3 社 ローカル 7 社）
2. シンガポールメディアプロモーション
- ・内 容：インフルエンサー 2 組を招聘し、ブログや SNS を通じて誘客宣伝を行った。
 - ・招聘時期：令和元年 11 月 26 日（火）～11 月 30 日（土）（うち、燕三条地域 2 日間）・メディア：
- Cheeserland HP/24 Things to do in Niigata（ページビュー数 71,454 件）
 - Cheeserland Instagram/燕市産業史料館（動画再生回数 11,000 件）
 - The Travel Intern Facebook/Uncovering Niigata（リーチ数 278,599 件）
- 3) 海外からの取材・視察対応
- ・取 材：5 件

台湾（メディア）、シンガポール（ブロガー）、ロシア（ブロガー・メディア）、シンガポール（ブロガー）、中国（ブロガー）

・視察：5件

イギリス12人（Royal College of Art）、ベトナム1人（H. I. S. 現地法人職員研修）、台湾43人（台中市工商協進會）、中国33人（中国高校生訪問団）、中国40人（上海バイヤー）

・インターン受入：5件

メコン流域17人、ミャンマー、ベトナム、ネパール、モンゴル各1人（×4回）

4) ツアー造成・誘客状況

・ツアー造成数：24本（シンガポール13本、ベトナム4本他）

・催行送客：14本（シンガポール6本、ベトナム3本他 計447人）

5) インバウンド誘客パンフレットおよびホームページの制作

・内容：外国人個人旅行者向けのパンフレット制作（20ページ）

・部数：英語、中国語（簡体字・繁体字）各5,000部

⑤ 海外展開に関するセミナーの開催

1) 米国市場の近況と海外展示会における効果的なPR

・内容：米国市場の最新動向とNY NOWの特徴、展示会の有効な活用方法について

・開催日：令和元年4月23日（火）

・講師：LITAARTISAN 長江 一彌氏 / 小池 周湖氏

・参加者：17人（16社）

2) EPA活用促進セミナー

・内容：EPAの概要とメリット、実際の取組み事例の紹介

・開催日：令和元年5月24日（金）

・講師：ジェトロ海外調査部アジア太平洋州課 課長代理 小林 恵介氏

・参加者：27人（22社）

3) 台湾インバウンドセミナー

・内容：台湾人観光客の訪日動向、取組み事例の紹介

・開催日：令和元年5月28日（火）

・講師：新高通顧問(株) 董事長 富田 恭敏氏

・参加者：22人（19社）

4) 貿易実務講座（基礎編）

・内容：海外取引実務の基礎講座

・開催日：令和元年7月9日（金）

・講師：ジェトロ新潟 貿易投資相談アドバイザー 平本 勝氏

・参加者：58人（49社）

5) 海外展示会活用セミナー

・内容：海外企業と商談を行う際の事前準備、商談、フォローアップの方法など

・開催日：令和元年7月23日（火）

・講師：ジェトロ お客様サポート部 貿易投資相談課 課長代理 石川 雅啓氏

・参加者：22人（18社）

6) 欧州市場の近況と見本市 Ambiente について

ち燕三条」をイメージしやすくなるようスマートフォン・QRを利用した動画で、視覚的に訴求する仕掛けづくりを行なった。

キャッシュレス決済のニーズの高まりに対応すべく、d払い・PayPay などスマートフォン決済を導入し、国内外のお客様の利便性を高めた。

◆ 燕三条駅観光物産センター事業：外国人観光案内所カテゴリー1の認定を受け、訪日旅行者に対しては、翻訳ツールなどを活用し対応にあたった。その結果、来館者数、売上ともに1月までは順調に実績を伸ばすことができた。また、話題性のある商品やデザインコンクール受賞商品を多数取り入れ、ものづくりのまちとしてのイメージアップを図った。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額：415,789,213円、支出決算額：316,090,803円)

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合計
R元	6,480,600円	395,892,241円	10,682,048円	413,054,889円
H30	6,553,400円	409,575,032円	10,091,171円	426,219,603円
H29	6,553,400円	400,446,965円	14,367,503円	421,367,868円

② 自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	4/27～5/6 10日間 (4/28～5/6 9日間)	約29,724人 (約22,004人)
お盆フェア	8/14～18 6日間 (8/11～16 6日間)	約12,104人 (約17,007人)
年末フェア	11/30～12/1 2日間 (12/1～2 2日間)	約10,691人 (約10,772人)
観光バス来館	通年	1,072台 (1,238台)

※下段()：H30年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
R元	276,492人	2,769名	13,989,790円	683件	13,191,548円

H30	263,601 人	3,355 名	16,439,435 円	811 件	13,786,226 円
H29	259,058 人	2,312 人	13,105,893 円	591 件	11,301,958 円

④ その他実績

手ぶら観光	レンタサイクル
147 名 (内外国人 0 名)	217 名

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(収入決算額：71,280,298 円、支出決算額：62,051,871 円)

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合計
R 元	2,508,000 円	66,585,485 円	1,834,206 円	70,927,691 円
H30	2,508,000 円	70,341,838 円	2,030,003 円	74,879,841 円
H29	2,508,000 円	65,331,143 円	2,511,023 円	70,350,166 円

② 自主イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GW フェア	5/2～6 5日間 (4/29～5/6 8日間)	約 2,050 人 (約 2,389 人)
お盆フェア	8/11～15 5日間 (8/11～15 5日間)	約 2,206 人 (約 2,451 人)

※下段 () : H30 年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
R 元	74,781 人	1,080 名	4,712,535 円	282 件	4,165,229 円
H30	79,642 人	821 名	5,264,334 円	273 件	4,761,816 円
H29	85,307 人	759 人	3,814,237 円	204 件	3,308,859 円

④ その他実績

手ぶら観光
62 名 (内外国人 8 名)

【7】 収益事業

1 収支決算額

○収入決算額：110,863,652 円

○支出決算額：50,229,897 円

2 事業の成果

- ◆ 他地域連携販売事業: 多彩なイベントを併設した年末フェアや道の駅交流販売を展開し燕三条地域外からも多くの集客を図り、オリジナル商品の他、県内特産品の販売も併せて行うことで、観光施設のイメージアップと燕三条製品の集約的なPRを行った。
- ◆ 貸館事業: 貸館利用促進のため見本市展示会総合ハンドブックへの広告掲載を行うと共に、お客様の利便性を図るため、多目的大ホールでのWi-Fi使用を可能にし、貸室全館でWi-Fiを利用できるようにした。また、お客様とコミュニケーションを密に取り、スムーズな運営ができるよう心掛け、より良いサービス提供に努めた。
- ◆ レストラン運営事業: Bitへのサポート、イベント開催等で連携することにより、レストランのイメージアップと売上増につながった。また、会場利用者へお弁当や飲み物の提供を行い、会場利用者への便宜を図った。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額 : 35,975,768 円、支出決算額 : 27,764,900 円)

年度	地域外取扱商品販売金額	他地場産センター商品販売金額
R 元	33,837,398 円	1,718,370 円
H30	31,212,575 円	960,170 円
H29	25,696,723 円	810,700 円

(2) 貸館事業

(収入決算額 : 56,598,965 円、支出決算額 : 12,837,380 円)

【会場利用状況】

- ・ 施設利用者数 : 149,757 名 (前年度 183,841 名)
- ・ 施設利用状況 (金額・利用率) ※ () 内数字は内部利用を含む

施設名	令和元年度	平成 30 年度
<u>メッセピア</u>	40,758,605 円	46,752,994 円
1F : 多目的大ホール	18.5% (24.4)	24.2% (29.1)
3F : 中会議室	37.0% (37.2)	36.3% (36.7)
4F : 大会議室	26.3% (27.8)	26.4% (28.8)
特別会議室	2.7% (4.5)	3.4% (5.2)
小会議室 (和室)	11.5% (11.5)	20.8% (20.8)
5F : 総合研修室	33.3% (33.9)	34.5% (36.6)
ミーティングルーム	40.9% (41.4)	40.7% (42.2)
<u>リサーチコア</u>	15,226,160 円	16,057,539 円
6F : 研修室	25.3% (26.6)	26.9% (28.0)
7F : マルチメディアホール	22.7% (25.1)	23.5% (25.5)
合計 (メッセピア・リサーチコア)	55,984,765 円	62,810,533 円

(3) レストラン運営事業

(収入決算額：18,288,919 円、支出決算額：9,627,617 円)

(4) 燕三条イタリアン Bit 実績

売上金額	客数	営業手数料
185,752,269 円	51,972 人	6,393,806 円

附属明細書

令和元年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。